

問い合わせ先

第二管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 長尾 道広

電話 022-363-0111 (内線 2510)



平成23年10月26日

第二管区海上保安本部

## 大船渡港の水深測量の成果がまとまりました

大船渡港における航路及び主要な岸壁付近の精密な水深測量の成果がまとまり、港内の海底の現状を正確に把握できました。

第二管区海上保安本部では、東北地方太平洋沖地震により被災した管内の港湾について、水深の変化や海底の障害物の状況等を把握し、海図に反映するため、水深などの測量を実施しています。

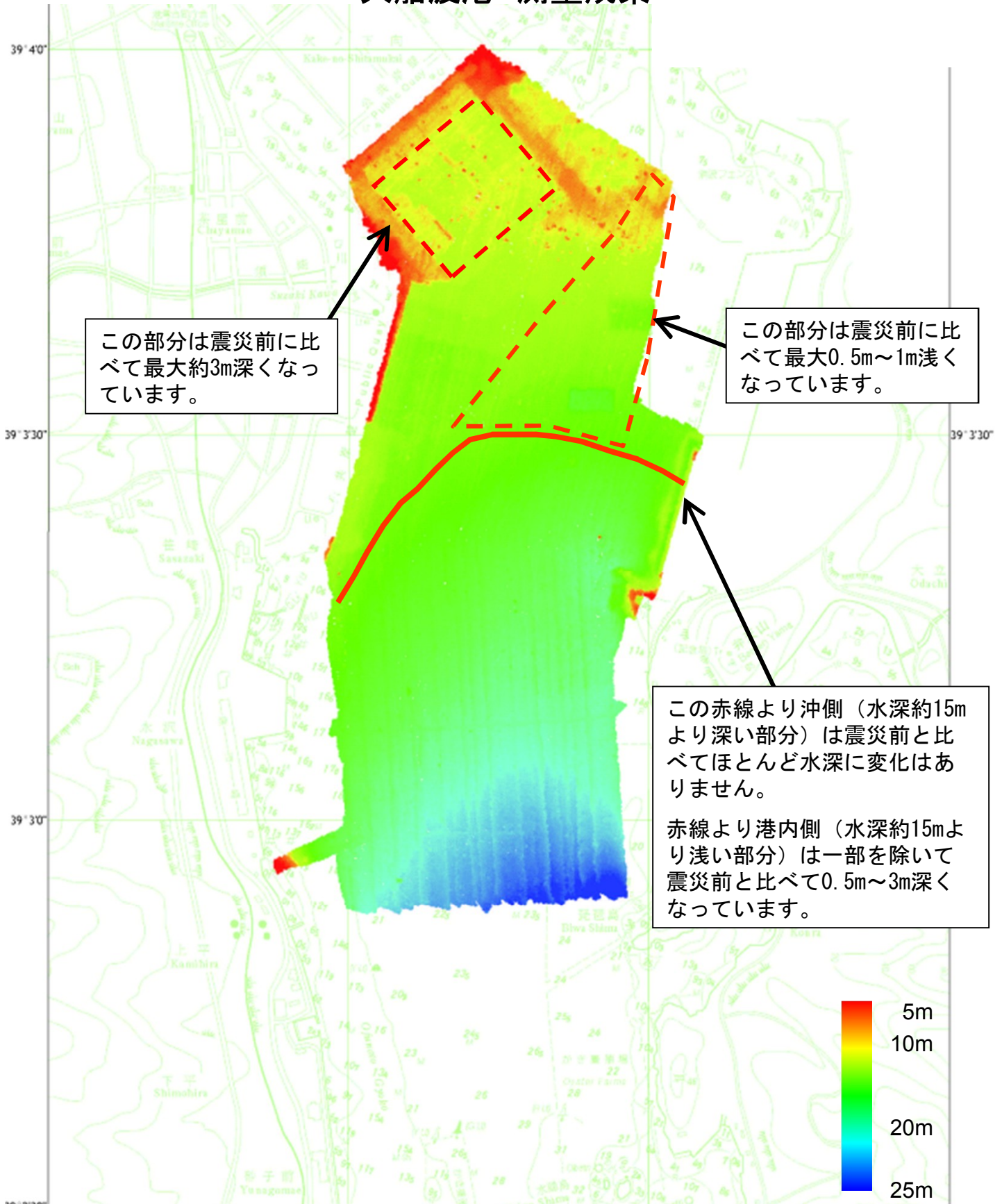
今般、6月下旬から7月上旬にかけて、海上保安庁測量船「海洋」(550トン)により実施した大船渡港における測量データの解析処理が終了し、以下のとおり、航路などの詳細な状況が明らかになりました。

- (1) 震災前に比べて水深約15mより浅い海域では約0.5m~3mほど水深が深くなっていますが、一部約0.5m~1m浅くなっている区域がありました。これらについては、航行の安全のため、二管区水路通報で周知を行っています。
- (2) 水深15mより深い海域については、ほぼ変化はありませんでした。

海上保安庁では、これらの成果を海図に反映し、11月中に補正図を発行する予定です。

<p>海図 W1093 大船渡港</p> A nautical chart of Ofunato Port, Japan. The chart shows depth contours, navigational markers, and various islands and towns. A red rectangular box highlights the central part of the port, indicating the area where the depth measurements were conducted. Labels include 'Ofunato', '大船渡港', '赤崎町 Akasaki', and '大船山 614'.	<p>測量船海洋</p> A photograph of the measurement ship 'Maru' (JCGM 505) at sea. The ship is white with a blue stripe and has 'JAPAN COAST GUARD' and 'HE-05' written on its side. It is a medium-sized vessel with a complex superstructure. <p>総トン数 550トン 主要寸法(全長×巾×深) 60.0×10.5×5.0m 速力 約15ノット 航続距離 約5,000海里 主要観測機器 複合測位装置 マルチビーム測深機 XBT ADCP</p>
--	---

# 大船渡港 測量成果



メートルの尺度